

先端巨大症における治療前後の腎機能と体組成の変化

2012年1月1日から2021年12月31日までに先端巨大症のために当院糖尿病・内分泌代謝内科、脳神経外科で経蝶形骨洞的下垂体腫瘍摘出術や薬物療法を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「先端巨大症における治療前後の腎機能と体組成の変化」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2012年1月1日より2021年12月31日までに日本医科大学付属病院糖尿病・内分泌代謝内科、脳神経外科にて、先端巨大症のために経蝶形骨洞的下垂体腫瘍摘出術や薬物療法による治療を受けた患者さんの治療前後における腎機能や体組成の変化を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：先端巨大症における治療前後の腎機能と体組成の変化

研究期間：研究実施許可日～2025年12月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 糖尿病・内分泌代謝内科 福田いずみ

(2) 研究の意義、目的について

先端巨大症では成長ホルモンやインスリン様成長因子1の過剰分泌により、体液量増加や腎臓における糸球体濾過量が過剰になり、治療後にはそれらが低下することが報告されています。本研究では治療前後の腎機能や体液量の変化を検討し、成長ホルモン過剰が腎機能や体組成に与える影響と治療によるホルモン是正がもたらす効果を明らかにすることを目的といたします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2012年1月1日より2021年12月31日までに日本医科大学付属病院 糖尿病・内分泌代謝内科、脳神経外科にて、先端巨大症のために経蝶形骨洞的下垂体腫瘍摘出術や薬物治療を受けた患者さんの以下の情報を用いて検討を行います。

試料：なし

情報：年齢、性別、身長、体重、血圧値、血液検査所見（一般検査、内分泌検査）、尿検査（一般検査、尿蛋白、尿中アルブミン）、下垂体MRI、甲状腺や心臓のエコー検査等の結果

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 糖尿病・内分泌代謝内科 教授 福田いずみ

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：6724

メールアドレス：i-fukuda@nms.ac.jp